

駒の子短歌

No.23 令和3年8月23日(月) 佐久市立望月小学校

7月17日(土)、佐久市立望月図書館で行われた小学生「一日司書体験」に6年生2名が参加しました。

その感想が望月図書館から送られてきましたので、紹介します。体験を通して学んだこと、成長したことが伝わってきます。



今日は、一日図書館職員をして、大切だと思ったことは、来た人へのあいさつやていねいな対応をすることだと思いました。

あいさつは、はじめのときは小さな声でしたが、やっていくうちに色々学んで少しずつ大きな声であいさつができました。そして、ていねいな対応もして、今日は色々といっぱい学びました。

そして、これからもその学んだことを活かしていきたいと思いました。
(怜音さん)

私が司書体験をしたかった理由は、「司書の仕事を自分もやってみよう」と思ったからです。体験はちょっと難しいところもあったけど、すごく楽しかったです。配架やカウンターのお仕事が特に楽しかったです。本の場所を覚えるのは少し難しかったです。

新しい本の紹介も、わくを書いたり、絵をかいたり、すごく楽しかったです。

大人になったら、司書さんをできたらいいなと思いました。

(かのんさん)



自分から 人と関わり 味わった

学ぶ楽しさ 司書体験